

大音生活にもっと“キラリ”を♪

MUSE

4 Vol.241
April 2017

MUSE

April 2017
Vol.241

100周年記念館のすべて。

学校法人 大阪音楽大学出版部 MUSE | vol.241 | 2017年4月15日発行 | <http://daion.ac.jp>
発行：学校法人 大阪音楽大学 〒558-8555 豊中市庄内南町1-1-8 TEL:06-6334-2904 FAX:06-6334-2141
制作：編集：広瀬聖 muse@daion.ac.jp 制作協力：印刷：(株)高瀬オファセット

大阪音楽大学

学びがもっと加速する

100周年記念館 のすべて。

CONCERT SCHEDULE

演奏会やオペラなど、大音関連のイベント。

大阪音楽大学主催公演

大学主催公演に関するお問い合わせ
大阪音楽大学コンサート・センター
TEL:06-6334-2242
<http://daion.ac.jp>

開催日時・出演者が変更になる
可能性があります

第1回ミレニアムピアノコンサート
5/16(火) 17:15～ ●北野裕司、鳥居
知行 ●MH ●無料

クロード・ドゥラング
サクソフォーン・マスタークラス
5/18(木) 17:00～ ●MH ●無料(要整
理券)

クロード・ドゥラング
サクソフォーン・リサイタル
5/19(金) 18:30～ ●OH ●一般3000
円、高校生以下1000円

第52回ミレニアム・スチューデント・
コンサート
第1夜・5/22(月) 18:00～、第2夜
5/23(火) 18:00～ ●オーディション
による選抜学生 ●MH ●無料(要整
理券)

第2回ミレニアムピアノコンサート
6/8(木) 17:15～ ●丸山耕路、星賀
規子 ●MH ●無料

第53回ミレニアム・スチューデント・
コンサート
第1夜・6/12(月) 18:00～、第2夜・
6/14(火) 18:00～ ●オーディションに
よる選抜学生 ●MH ●無料(要整
理券)

大阪音楽大学共催公演

第3回豊中音楽コンクール本選
(主催：豊中市)
7/2(日) 10:00～ ●OH ●無料 ●
06-6858-2503(文化芸術課)

学生自主演奏会

Tutti2017 喜劇劇「天国と地獄」
5/14(日) 17:00～ ●OH ●800円 ●
080-2713-1821(山田)

大阪音楽大学後援演奏会

二星美紀・諏訪部匡司
Joint Concert vol.5(神戸公演)
5/4(休祝) 14:00～ ●Sop:二星美紀、
Ten:諏訪部匡司、Bar:木村孝夫、
Pf:関口康祐 ●神戸舞子ピラ あじ
さいホール ●一般2000円(当日
2500円)、小・中学生800円(当日
1000円) ●090-9706-7522(諏
訪部)

蔵我楽-kuragaraku-コンサート
vol.1"l'hommage"～あるクラリネット
奏者への
5/18(木) 19:00～ ●Cl:上田希、Pf:
水谷友彦 ●ノフ・アコルデ音楽アート
サロン ●一般3500円、学生2500円
●06-6862-8855(ノフ・アコルデ
音楽アートサロン)

ピアノトリオのひとつ
6/3(日) 14:00～ ●Pf:真壁泰江、
Vn:赤松由夏、Vc:後藤敏子 ●西宮

プレラホール ●一般2500円(当日
3000円)、学生1500円 ●078-
411-6016(ピアノトリオ実行委員会
2017)

ヴァイオリン・コントラバス・ピアノ
による室内楽の楽しみ2017
一音の世界

①6/10(土)、②6/11(日)、③6/18(日)い
ずれも14:00～ ●Vn:河村典子、cb:
白土文雄、Pf:久保美緒 ●①小海
邸(長野)、②光が丘美術館(東京)、
③Salon Classic(兵庫・芦屋) ●①
3000円、②一般3500円、学生2000
円、③一般3000円、学生2000円
●090-4270-9829(久保)

幸楽会後援演奏会

ジョイントリサイタル
4/30(日) 14:00～ ●Sop:上田明美、
Mez:加瀬美佐子、Bar:佐伯文太
郎、Pf:新居幸枝 ●ザ・フェニッ
クスホール ●入場無料

2台ピアノデュオリサイタル
～2台のピアノで描く音の風景～
5/13(土) 13:30～ ●Pf:水頭説子、
藤本範子 ●横浜みなとみらいホー
ル小ホール ●3000円 ●047-711-
8771(藤本)

古楽で綴る音楽の花束
5/13(土) 14:00～ ●Rec:神谷徹、
Vg:上田牧子、Cem:井幡万友美、
京谷政樹 ●アトスペースHase(ハー
ゼ) ●3500円(当日4000円)お茶&
お菓子付 ●msjwes.2015@gmail.
com(京谷)

＜幸楽会＞滋賀県湖北支部
第3回演奏会 バラ香る季節に
5/21(日) 14:00～ ●Sop:並川幸恵、
北島都也、Ten:河村貴明、Pf:杉下
純子、更科弓他 ●栗東芸術文化会
館さくら小ホール ●1000円 ●090-
2282-9880(北島)

田村靖子&嶋本真祐子
ジョイントコンサート
6/4(日) 14:30～ ●ピッコロシアター
小ホール ●1500円 ●090-3927-
5995(嶋本)

二番目に言いたいこと
～野上聡子がうたう日本の歌～
6/11(日) 15:00～ ●Sop:野上聡
子、Pf:清水香里、Vc:井上貴信
●富山市民プラザサンサンホール
●一般2000円、学生1000円
(小・中・高) ●076-413-6055
(野上)

ピアノ弾き語り
HIRO ハートフルコンサートin神戸
6/18(日) 14:30～ ●神戸芸術セン
タープロコフィエフホール ●2500円
●06-6613-3611(にしう)

浅野裕子&小澤華子
ピアノジョイントリサイタル
6/25(日) 14:00～ ●ザ・フェニッ
クスホール ●一般2500円、中学生以
下1000円 ●078-621-0358(小
澤)

川尻淳ピアノリサイタル
7/9(日) 14:00～ ●宝塚ベガ・ホール
●3000円 ●080-3839-1770(川
尻)

OH:ザ・カレッジ・オペラハウス MH:ミレニアムホール ※必ず主催者発表のものと照合してご確認ください。

トライアルレッスン 無料

2017 初夏 6.11 sun

対象 ジャンル ジャズ・ポピュラー・電子オルガン・ミュージカル

会場:大阪音楽大学 時間:9:30～16:45の間の30分間(お申込受付後、個別にお知らせします)※一部グループレッスンとなります/対象:中学生(電子オルガンのみ)・高校生

お申込みはこちらから
[申込締切 5月31日(水)]

お問合せは ☎0120-414-015 ✉info-nyushi@daion.ac.jp

※対象楽器
ジャズ:フルート・クラリネット・サクソフォーン・トランペット・トロンボーン・ベース・ドラムス・ピアノ・ギター
ポピュラー:ヴォーカル・ギター・ベース・ピアノキーボード・ドラムス・サクソフォーン
電子オルガン:ELS-02C、AT800より選択
ミュージカル:歌唱、ダンス、演技を合わせた90分間グループレッスン

次号は 7月1日 発行予定です。

右記のSNS配信サービスでも大音情報をチェックできます。
最新情報を配信中!

公式FB @ocm_t @daion daion_insta 公式アプリ

「MUSE」の住所・氏名変更の手続きについて 変更前と変更後の住所や氏名(よみがな)を大学へお知らせください。メール(muse@daion.ac.jp)かFAX(06-6334-2141)で受け付けております。※郵便局の転送サービスは期間が終わると配達されなくなります。

教育研究の質を高める
可能性を秘めた、新たな“学び舎”。
大阪音楽文化の中核として、
大音がさらなる発展を遂げる拠点に。
——中村孝義 [理事長]



2015年の7月に着工した100周年記念館が完成し、いよいよオープンしました。旧K号館の老朽化と利便性の悪さなどから、本校地内に新校舎を建設し、その機能を移転したいという長年の念願がここにやっと叶うことになりました。施設や環境といったハードの充実は、必ずしも学びの充実に繋がるわけではないと言う声を聞くこともなくはありません。しかしザ・カレッジ・オペラハウスが、創立者の夢であった本学のオペラ運動の質を飛躍的に高めたように、ハードや環境の充実は、教育研究の質を爆発的に高める大きな可能性を秘めています。この100周年記念館が、本学に集う学生や教職員の意識やモチベーションを大いに高め、地域の音楽文化の拠点となり、大阪音楽大学が次の100年にさらなる発展を遂げ、大阪音楽文化の中核であり続ける礎になることを願ってやみません。



大阪音楽大学の“進化する校舎”100周年記念館へようこそ！





パブリックスペースの1~3階はナチュラル、学びの場となる4~6階は学生たちの情熱が感じられる暖色系、活動的なフロア7~8階はクールな寒色系と、フロアごとに色分けを施しています。

3

ゾーン分け

8つのフロアを3つにゾーン分け。カーペットのカラーリングなど、視覚的にも感じられる“違い”

建物内部は8階建てを3つの層でゾーン分けしています。図書館や楽器資料館など、新校舎の専攻・コース以外の学生も利用する1~3階はパブリックゾーン、演習室や練習室が集まる4~6階はレッスンゾーン、

ダンスや体育館など活動的なスペースがある7~8階はアクティブゾーンに。廊下のサインやカーペットのカラーリングなどでそれぞれの違いを視覚的にも感じられるようにデザインしています。



居心地、使い勝手の良さ、女性の感性を重視したデザインを随所に。

学生の多数を占める女性の感性を重視し、インテリアは柔らかな雰囲気が出るように心掛けています。壁にあるサインはアクリルのプレートを使い、淡い色のグラデーションでジュエリーのような印象に。アクセントになる壁のクロスが8フロア全部異なるトイレは、百貨店のトイレの居心地の良さや使い勝手をイメージしてデザインしています。

4

インテリア

歩道の幅や広場を設置。市とも連携し、周辺環境に溶け込むデザインに。

新校舎の建設と併せて、エントランス周辺も整備。ミレニアムホールへつながる狭くて暗かった歩道を4メートルに拡幅し、豊中市と協働し「憩いの広場」も設けました。エントランスから直線的にすっきり伸びたデザインで、中央にはイベントにも使えるステージを配置。四季折々の木々や草花に囲まれたベンチでおしゃべりを楽しむなど、学生だけでなく音楽メディアセンターを利用される方々の憩いの場として開放しています。

左：豊中市と協働し作った「憩いの広場」。

右：建物の入り口横のテラスは学生たちの待ち合わせ場所にも最適。



株式会社 アーキスタンド
宮崎洋行さん

2009年 ARCHI STAND 設立。教育施設をはじめ、老人ホーム、ホテル、オフィスなどの設計実績を持つ。お客様の内にある、一番「大切なこと」を引き出すための対話を重視した設計をポリシーとする。



設計者に教えてもらう

100周年記念館

5つのキホン。

「どうしてあんな形なの?」「どんな特徴があるの?」
——100周年記念館を設計した

株式会社アーキスタンド一級建築士事務所・
宮崎洋行さんに伺いました。

1

外観・デザイン

既存の建物との
バランスを重視。
地域のランドマークとして
大音100周年をアピール。

たくさんの箱を積み重ねたような特徴的な外観は、さまざまな専攻・コースのニーズを各フロアに反映させ、機能的に積み上げていった結果のデザイン。大音の100周年をアピールするランドマークとなることを目指していますが、この建物だけが目立ってはいけません。大音にもともとあるイメージを損なわず、隣接するミレニアムホールやO号館とのバランスを取りながら個性を発揮することを心掛けました。

細やかなヒアリングで 教員のニーズを最大限に反映。 練習室の配置など、防音にも配慮。

「デッド(響かない)にしてほしい」「生の声で歌うので多少響くように」など、部屋の用途によって音への要求は異なります。そのため、新校舎で教鞭をとる全専攻・コースの先生にヒアリングを行い、ニーズに最大限応えられる音響設計をしています。また、どれだけ防音しても多少の音漏れは避けられません。4階、8階にある練習室は西側のミレニアムホール側に集中的に配置し、東側の住宅街への影響を最小限に抑えています。

2

音響・防音



部屋の体積に対して建材が吸音する面積や各素材の吸音性能を計算し、最適な吸音バランスになるように設計しています。



K606 ミュージカル演習室

三面が鏡張りで身体の動きをしっかりと確認しながら練習できるようになっています。舞台仕様の設備が整っており、試演会などの開催も可能です。LED照明はコントローラーで寒色・暖色の色合いに調色ができるようになっています。

白っぽくなったり、黄色っぽくなったり、シーンに合わせて照明の色が変えられるんだ!



オレも足上がるかな?

イテテテ...

体がたいないー



K701 体育館

バドミントンコート約3面分の広さの体育館。床下には制振装置が埋め込まれており、授業で飛び跳ねても振動を抑える設計になっています。また、体育の授業以外での使用も想定し、音響機器やスタンド照明なども設置できるようになっています。

卓球には自信あり!



K603 オペラ演習室

床材をはじめ、暖色系の色合いが特徴のオペラ演習室。オペラの生の声により響くよう天井板を除いた空間は、発声練習にも最適。照明も常設し、試演会も開催できます。また、階段席ではレッスンを見学できるだけでなく、座面下がオペラで使う小物やパイプ椅子を収納できるスペースになっています。



引き出し式にもなっていて、出し入れがしやすいそう

すごい! 人が入れそうなくらい広いスペースになってる



100周年記念館を探検してきました!!!

キャンパスコンシェルジュ・中瀬さんの案内でめぐりました



新しい教室にテンションもUP!



床の継ぎ目にひっかかることもなく、とても踊りやすいです

K702

ダンス演習室

上層階に位置し、外光を感じながら気持ちよく体を動かせるダンス演習室。壁一面に広がる鏡がより一層明るさを感じさせます。「ほどほどに滑って、ほどほどに止まる」という絶妙なバランスの床材は、北浜竜也主任講師がレッスンの場としてこだわったポイントだそうです。



明るい日差しを浴びると、踊りにも力が入ります!

4月に運用がスタートした100周年記念館。地上8階建ての校舎の中は最新の音響設備を備え、楽器資料館や図書館など学外の方にも利用していただける音楽メディアセンターも完備しています。地域との交流を育みながら踏み出す新たな一歩。その象徴となる100周年記念館を3人の学生がめぐりました。

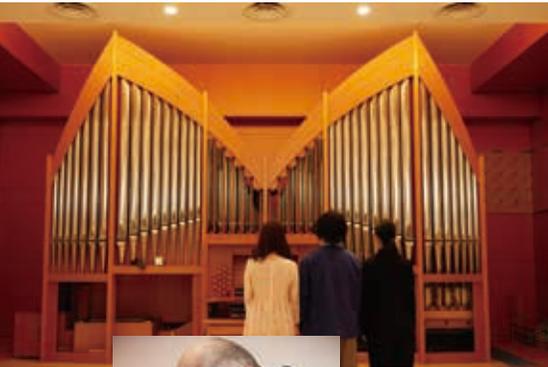
キャンパスコンシェルジュです



左: 中瀬恵美梨 [ダンス・パフォーマンスコース・短]
中: 岸本美咲 [ジャズ専攻(サクソフォン)・大2]
右: 永野雄介 [ポピュラー・コース(ボーカル)・短]

K301 パイプオルガン演習室

100周年記念館の中で最も音が響く演習室は、部屋全体でパイプオルガンの音色を響かせるイメージで設計されています。最長4mにもなるパイプを取めるため、天井の一部が高くなっています。設置されているパイプオルガンは旧K号館から移設したもの。教会など建物に合わせて設計されるパイプオルガンが移設されることは珍しく、ドイツ人の技術者をはじめとするスタッフが約1か月かけて移設しました。



3月26日に開催された100周年記念館完成披露式で初めて演奏されたパイプオルガン。会場の聴衆の心を打つ音色を響かせました。



部屋の中で手をたたいてみると“デッド”がよくわかるわ!

K505

ポピュラー演習室2

音の反射を抑えるため壁面にグラスウールや吸音ボードなどを使い、ポピュラー音楽に適した“デッド(響かない)”な空間を実現しています。演習室だけでなく、個人のためのレッスン室も備えた5階は“ポピュラー”一色のフロア。学生が集中して練習できる空間になっています。



4月からギターに転向して音楽活動の幅を広げます!



旧K号館ではビッグバンドの練習のたびに譜面台などをセッティングしていました。100周年記念館では練習スペースが常設されているのがすごい!



K401 ジャズレッスン室

広々とした演習室はビッグバンドの練習を想定。座学にも使用できるスペースになっています。また、練習室、レッスン室も備えており、個人やバンド形式など、さまざまな形態での練習にも対応しています。



演習室はコンパクトで、プレイヤーの距離感がいい感じ



サロンでは各種ミニライブも開催できるんだって。音響設備を接続すれば1階の録音スタジオで録音できるらしいよ!



5F 学生サロン&ルーフテラス

開放的なルーフテラスにも出られる学生サロンは昼食を食べたり、空き時間におしゃべりしたりできるリラックススペース。どのフロアの学生も利用しやすいよう、建物の真ん中の5階に位置しています。



ガールズトーク、めっちゃ盛り上がるやん

日差しもたっぷり、暖かくて居心地がいいね!



天気の良い日はテラスでランチもいいかも!

K421 電子オルガン演習室

演習室・レッスン室、合わせて8つの部屋に合計33台の電子オルガンが配置されています。ゆったりとした空間は指導を受けやすく、演奏しやすい環境になっています。



休憩スペース

各階北側にはレッスンや練習の合間にホッと一息つけるスペースがあります。大阪国際空港に離発着する飛行機をボーッと眺めたり、友人としゃべったり、リラックスするには最適な場所になっています。



南側からは梅田のまちがよく見える!

夏には、淀川で打ち上がる花火の絶好の鑑賞スポットになるかも!?

K411~K418

練習室

建物の西側に並ぶ8つの練習室はさまざまな楽器の練習が可能。窓の外はミレニアムホールなど学校の施設なので、万が一外部に音が漏れても安心。気兼ねなく、思いっきり練習できます。





録音スタジオのスペックは「関西に数多くある録音スタジオの中でもどこにも引けを取らない」と設計士の宮崎さんも胸を張るほど。



気分はレコーディングエンジニア

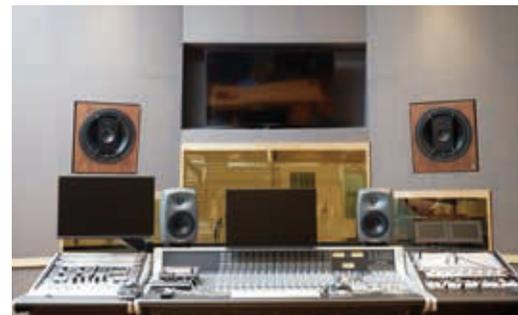


K101 録音スタジオ

ナチュラルな色づかいで、リビングにいるかのような雰囲気。録音スタジオは録音の大敵「雑音」をシャットアウトするために、100周年記念館の中で最も静かな部屋になっています。建物の真上を飛行機が通過するため、最も距離が遠い1階に配置。また、スタジオとして最適な天井高を確保するために他の1階のフロアより数メートル掘り下げるほどの音へのこだわり。スタジオ内の5つのブースで録音ができるのももちろんのこと、光ケーブルでつながっている体育館や学生サロン、演習室、隣接するミレニアムホールなどでの演奏も録音できます。



ドラムセットとピアノが収められた専用ブース



100周年記念館で夢を叶えよう!

卒業後の夢を実現するため、100周年記念館の充実した設備でこれまで以上に練習を頑張ります!



1719年に作られたスピネット(チェンバロの一種)。白鍵は象牙でできているんだって!



初めて法螺貝を触った!

1999年にサントリー株式会社から大阪音楽大学に寄贈された「弦楽器コレクション」も展示しています。オッタヴィーノのケースに描かれたテンペラ画は貴重なんですよ。



学芸員の大槻晴彦さんに案内していただきました!

3F

音楽メディアセンター [楽器資料館]

旧K号館の音楽博物館が「楽器資料館」に改称。館内は日本の伝統楽器、西洋楽器、民族楽器の3つにゾーン分けされ、それぞれのゾーンは温度・湿度を24時間管理しています。館が所蔵する世界各地の楽器約2,000点のうち約1,400点を常設展示しています。



スコット



ドはどこやろ?



水が流れてるような音がする!

スティール・パンやパロ・デ・ジュビアなど、楽しい民族楽器もたくさんあるね。



手回しオルガンの「パレル・オルガン」。仕掛けが面白い!



このパネルで3つの展示室の温度・湿度を24時間モニタリングできるようになっています。



一般の学生は閉架書庫内に立ち入ることができません。必要な資料は申請してくださいね。(スタッフの橋本真由美さん)

閉架書庫の中は珍しいCDや楽譜がいっぱい!その数の多さに圧倒されます!



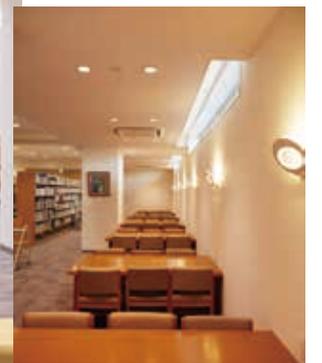
サイレントスペースは周りの音や視線を気にせず、自習に集中できそう!

2F 音楽メディアセンター [図書館]

国内外の楽譜約50,000点、視聴覚資料約54,000点を所蔵。静かに自習したい人向けのサイレントスペースや、数名でCDやDVDを視聴することができるグループ視聴覚室も備えています。1階エントランス横の階段からアプローチテラスを通過して直接図書館に行くこともでき、第1キャンパスで学ぶ学生もアクセスしやすい設計になっています。



グループ視聴覚室でじっくりと音楽を聴いたり、映像をみたり。

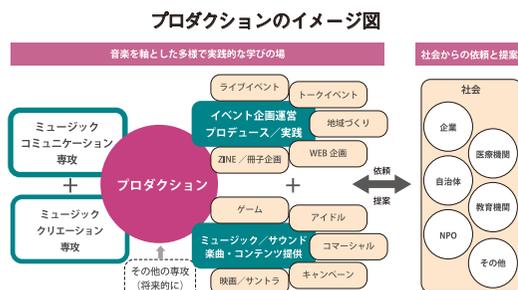


02



ミュージックコミュニケーション専攻 学内にプロダクションを設立 イベントに使える専用教室も整備

2017年4月、本格的な音楽活動を手がける「プロダクション」が学内に誕生。ミュージックコミュニケーション専攻の授業と連動し、企業や自治体などの協働を通して、さまざまな音楽イベントやプロジェクトに関わりながらイベントの企画案のコツや運営方法を実践的に学びます。また、ミュージッククリエイション専攻とタッグを組み、在学生のプロモーションまでもトータルに担当。在学中から憧れの音楽事業にしっかりと関わっていくことができます。さらに、D号館(旧視聴覚資料閲覧室)に専用教室を整備。スタイリッシュなこの教室は、イベントの企画の構想や対話などがフレキシブルに行えるだけでなく、実際のイベントスペースとしての活用も想定。PC(Mac)やプロジェクタ、スピーカーなどのメディア設備も充実し、なんとミラーボールまで完備。音楽ライブやトークショー、クラブイベントなど多様な利用を想定した、単なる「教室」ととどまらない設計です。



大阪音楽大学での学びの中で、社会の様々な人や組織と実際に関わりながら、プロジェクトに携わり、リアリティのあるキャリア取得を目指す枠組み。

04



本学特別名誉教授 アルベルト・ゼッダ氏のご逝去

3月6日、本学特別名誉教授のアルベルト・ゼッダ氏 (Alberto Zedda) が母国イタリアで逝去されました。ゼッダ氏と本学の出会いには2015年4月、第53回大阪国際フェスティバルのオペラ「ランスへの旅」において共演させていただいたことに始まり、2016年12月には第59回大阪音楽大学定期演奏会(指揮:ゼッダ氏)にて再共演を果たすことができました。また、本学はイタリアのロッシェニ・オペラ・フェスティバルの芸術監督であるアルベルト・ゼッダ氏に対し、2015年4月9日に「特別名誉教授」の称号を授与しています。この度のアルベルト・ゼッダ氏ご逝去の報に接し、心から哀悼の意を捧げます。

03



ミュージックコミュニケーション専攻生の自主企画 K号館さよならフェスを開催

「100周年記念館」の竣工により閉鎖されたK号館(旧水川記念館)。37年の歴史への感謝と思い出をしのぶため、ミュージックコミュニケーション専攻1年生、坂井威文さんによる自主企画「K号館さよならフェス」が、2月15日にK号館若人広場(体育館)にて開催されました。授業やレッスンでK号館を利用していたポピュラー、ミュージカル・コース生をはじめ、古楽演奏演習(リコーダー)などで教鞭をとった北山隆名誉教授ら、計7組が出演。さまざまなジャンルの音楽の合同には、事前にSNSで募ったK号館での思い出やメッセージが紹介され、イベントの最後にはK号館の37年間を映したスライドショーが投影されました。



スライドショーを公開中!

01



1. あいさつを述べる中村孝義本学理事長。
2. 豊中市長 浅利敬一郎様
3. 日本私立大学協会常任理事 谷岡一郎様
4. 阪急電鉄株式会社代表取締役会長 角和夫様。



5. 開会のファンファーレを演奏した管楽器専攻生。
6. パイプオルガンを独奏した朴秀美さん。
7. ソプラノ独唱の吉野安奈さん。

100周年記念館 完成披露式を厳かに挙行

3月26日10時半から、100周年記念館完成披露式を同館パイプオルガン演奏室で執り行いました。管楽器専攻生によるファンファーレ演奏(大1・ミュージッククリエイション専攻 丸岡裕子さん作曲)で開式し、中村孝義理事長が「念願の100周年記念館建設により学生の学習環境を向上させ、今後も地域の音楽文化の拠点として発展し続けたい」とあいさつ。続いてご来賓の豊中市長 浅利敬一郎様、日本私立大学協会常任理事であり学校法人谷岡学園理事長・大阪商業大学学長 谷岡一郎様、阪急電鉄株式会社代表取締役会長 角和夫様より、ご祝辞を頂きました。その後、パイプオルガン独奏の朴秀美さん、ソプラノ独唱の吉野安奈さんによる祝賀が行われ、全員での校歌斉唱では新しい教室に歌声が響き渡りました。ご参加いただいた方々は、閉式後に新しい校舎を見学され、最新の設備、最高の学習環境に感嘆の声を上げておられました。

08

新任・退任の教員紹介

新任教員

2017年度、新たに着任された方々です。

- 松浦伸吾(作曲)
- 大楠雄蔵(ミュージッククリエーション)
- 小野昭彦(ミュージッククリエーション)
- 戸谷太郎(ミュージッククリエーション)
- 江南泰佐(ミュージックコミュニケーション)
- 丸井隆人(ミュージックコミュニケーション)
- 森 香織(声楽)
- 小池 泉(ピアノ)
- 青山知世(管・クラリネット)
- 風早宏隆(管・トロンボーン)
- 矢巻正輝(管・トロンボーン)
- 柴田綾子(ギター・マンドリン)
- 前川隆哲(邦楽)
- 谷 寿美(ミュージカル)
- 井上俊博(外国語)
- 大野俊明(大学院)
- 泉 尚也(ミュージッククリエーション)
- 岡崎 雪(ミュージッククリエーション)
- 津田一平(ミュージッククリエーション)
- 綿貫正顕(ミュージッククリエーション)
- 新免康子(ミュージックコミュニケーション)
- 乃村健一(声楽)
- 川野多佳子(ピアノ)
- 宮岡利行(ピアノ)
- 井澤裕介(管・サクソフォーン)
- 田中 弘(管・トランペット)
- 吉田治人(管・オーケストラ)
- 柴田高明(ギター・マンドリン)
- 遠藤真理子(ポピュラー・サクソフォーン)
- 橋本亜美(ミュージカル)
- 村田佳生(教職)

以上、全て講師

退任教員

2016年度、退任された専任教員の方々です。



浅井康子教授 [ピアノ]



出戸由記子教授 [ピアノ]



横山政夫教授 [教職]

10



ヴァチカン国際音楽祭2017 西本智実&イルミナート 合唱団員の一般公募を開始

西本智実本学客員教授が芸術監督を務めるイルミナートフィルハーモニーオーケストラ。カトリックの総本山サンピエトロ大聖堂でのローマ教皇代理ミサおよび演奏会に5年連続で招聘され、ウィーンフィルと共にメインオーケストラを務めます。ソリストとして本学関係者も出演し、ミサの様子はヴァチカン放送により世界約35か国に同時中継されます！イルミナート合唱団員の一般公募も開始されています。詳細はヴァチカン国際音楽祭公式HPを参照ください。

<http://vatican.illuminart-phil.com/>



指揮：西本智実(本学客員教授)
ソプラノ：熊本佳永(本学講師)
アルト：野上貴子(本学卒業生)
テノール：小堀勇介
バリトン：田中勉(本学教授)
管弦楽：イルミナートフィルハーモニーオーケストラ
合唱：イルミナート合唱団(一般公募中)

日程：
11月4日＝ローマ教皇代理ミサ サンピエトロ大聖堂、モーツァルト「戴冠式ミサ」、オラショ「レゴリオ聖歌」
11月5日＝音楽祭演奏会 サンジョバンニ イン ラテラノ大聖堂、モーツァルト「レクイエム」

09



豊中市立文化芸術センター開設記念事業 オープニング・ガラ・コンサート

3月25日、2017年1月にグランドオープンした豊中市立文化芸術センターの開設記念事業として、オープニング・ガラ・コンサートが開催され、本学の管弦楽団と合唱団が出演しました。豊中市の兄弟都市である「沖縄市」より沖縄市児童合唱団、大阪国際空港就航都市である「松本市」より波田少年少女合唱団の皆さまとも共演し、「ふるさとの四季」や、本学梶山拓也講師がこの日のために編曲した「風になりたい」等を演奏し、オープニングにふさわしい華やかな演奏会となりました。

編集後記

今回の特集は、できたてほやほやの新校舎「100周年記念館」！撮影日の3日間は折りが通じたのか、すべて晴天に恵まれ、設計士の宮崎さん、中村理事長、今年度から新校舎でレッスンを受ける専攻・コース生のみなさんと、さまざまな視点で新校舎を大解剖しました。これからみなさんにどう呼ばれるのか、その愛称も気になるところです。

05

第48回 吹奏楽演奏会
オール スパーク プログラム P.スパーク氏が自ら指揮



3月4日、フェスティバルホール(大阪市北区)で第48回吹奏楽演奏会が開催されました。今回は吹奏楽の第一人者、フィリップ・スパーク氏(Philip Sparke)の指揮でオール・スパーク・プログラム。「オリエント急行」、「宇宙の音楽」、「カラー・シンフォニー」などの受賞作を含めた、計7曲が披露されました。中でも「カラー・シンフォニー」が日本で演奏されたのは、今回が2度目。関西ではこの吹奏楽演奏会が初の機会でした。本番前、3日間にわたる入念なリハーサルのほか、昨年秋にはスパーク氏自身が突如来校して練習風景を見学されるなど、本学学生たちにとっても夢のような時間となりました。スパーク氏の作品には日本のファンも多く、当日は中高生をはじめ、会場は多くの人で埋め尽くされました。



07

キラリ★輝く大音の星

各種コンクールで受賞されたみなさん。



植村紗也香
(大2・チューバ)
第26回
日本クラシック
音楽コンクール
チューバ部門
大学の部
第3位
(1、2位なし)

▶2016年12月2日
かつしかシンフォニーヒルズ アイリスホール



吉田唯那
(大4・ピアノ)
第10回
ベートン
音楽コンクール
ピアノ部門
大学・院生Aの部
第1位

▶2016年12月25日
東京都 上野学園石橋メモリアルホール

06

NEW RELEASE

大音関係者がリリースした
CD・本・楽譜など。



BOOK

本山秀毅
(教授・声楽(合唱))
喝采、その日 その日。
うたごころの現場から
(堀雄紀編)

1400円(税抜)
PANAMUSICA
全国の書店、amazon他